小高い丘の上に建つ、
洋画家・寺内萬治郎の
常設展示館。

蘭島閣美術館別館では、洋画家・寺内萬治郎の作品を常設展示しています。裸婦像をはじめとする絵画作品のほか、画家の愛用していたイーゼルやパレットなどの貴重な品々も展示しています。

丘の上からは、対岸へ続く蒲刈大橋と瀬戸の風景を眺めることができます。

寺内萬治郎「背を見せたる裸婦」昭和29年

寺内萬治郎［1890-1964］

終生、裸婦像を描くことに情熱を傾けた洋画家で、蒲刈町大浦（現呉市上蒲刈町）出身の父を持ち、大阪市の商家に生まれました。日本の風土に密着した裸婦表現を追求し、女性のたくましさや強さを独自の表現で確立。「裸婦の寺内、寺内の裸婦」と謳われました。

● 近隣の文化施設のご案内

蘭島閣美術館
9/20（土）～11/17（月）所蔵品展Ⅱ
『蘭島閣美術館 珠玉の名品選』

三之瀬御本陣芸術文化館
開催中～11/3（月・祝）所蔵品展Ⅲ
『SEA―ようこそ、海へ。』

松　濤　園
9/10（水）～11/24（月・振休）所蔵品展Ⅲ
◇朝鮮通信使資料館『朝鮮通信使―江戸へのみちのり―』
◇陶磁器館『伊万里の煌めき』

● 交通のご案内

■自動車の場合

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡って最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前駐車場から徒歩で蘭島閣美術館→白雪楼→別館の順にお進みください。

■電車・バス利用の場合

JR呉線「広駅」を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮行き」バスに乗車し「三之瀬」バス停で下車。

● 次回展覧会のお知らせ

12/3（水）～ 2026/2/16（月）
「堅山南風 素描の世界―生命をみつめて」